

家畜衛生だより



置賜家畜保健衛生所
置賜家畜衛生指導協会
〒999-2232 南陽市三間通 444
0238-43-3217
0238-43-5249

R7-2 令和7年4月発行

放牧の準備を始めましょう!!

今年も入牧の季節がやってきました。放牧牛の疾病発生や事故を未然に防ぎ、放牧場で健康に過ごせるよう次のことに留意しましょう。

○餌を変える

30 日前…濃厚飼料を徐々に減らし、粗飼料（乾草）を増やす

20 日前…青草を少量ずつ給与する

第一胃内微生物の適応には **20～30 日**を要します！

○舎外の環境に慣れさせる

20 日前…昼間は畜舎外に出して雨風や直射日光にさらす

（可能なら最終的には昼夜ともに外に出し低温や夜露に慣らす）

○健康状態の確認

●**皮膚病の治療**…環境が変わるとストレスで皮膚病が悪化し、他の牛に感染を広げてしまうことがあります。

●**削蹄、除角、去勢等** を済ませておく。

削蹄は入牧直前ではなく、余裕をもって行ってください。

●**ピロプラズマ病対策**もお忘れなく。

健康状態に異常がある場合は入牧を見合わせることも大切です。

▼入牧準備が不十分な場合・・・

環境変化のストレスにより、群から脱落したり病気にかかりやすくなったりします。放牧初期の環境変化に負けない牛を目指しましょう！

